

目的 下肢形状とスカート丈との関係を審美面より把握するために、第1報において若い女性の下肢形状を取り上げ、その測定値を用いて類型化を行い、代表的な下肢形状の被験者を選出し、更に第2報においてはそれらの被験者に丈の異なるタイトスカートを着用させ、若い女性の目から見た下肢形状とスカート丈との関係について検討を行った。そこで本報においては、性別による評価の違いを検討するために同世代の男性を取り上げ、それらの評価にどのような形態因子が影響しているかを明らかにするとともに、女性との差異について比較検討した。

方法 第2報において作成した96種のカラースライドの下半身をプロジェクターにより投影し、120名の男子大学生を用いて、下肢形状とスカート丈が調和している—調和していない、気軽な—あらたまった、上品な—下品な、大人っぽい—子供っぽいの4形容詞対について5段階評定の官能検査を行った。得られた結果を数値化し、重回帰分析等の手法により下肢形状との関係を検討した。

結果 調和している—調和していない、上品な—下品な、大人っぽい—子供っぽいについては男性と女性の評価に有意な相関が得られたが、気軽な—あらたまったについては得られなかった。また下肢形状との関係において、調和している—調和していない、上品な—下品な、大人っぽい—子供っぽいについては女性の評価とは異なり、高さ項目及び左右の下肢の隙間の大小が評価に大きく影響しているが、気軽な—あらたまったについてはスカート丈がわずかに影響しているのみで、他の項目とは全く相関が得られなかった。